

会員紹介

プラスチック加工興和 株式会社

訪問者
亀井伸也

徳川家康公築城の駿府城跡、廟所の久能山東照宮、登呂遺跡、世界文化遺産の三保松原など、歴史と自然が見事に調和した政令指定都市、静岡市。今回は、静岡市駿河区にある創業が1995年、社員数が79名の“プラスチック加工興和(株)”を訪問した。社名が示唆する通り、各種プラスチック製精密部品の機械加工を行なっている。

このうち主力の切削加工は、金属材料加工のときと同じのマシニングセンタ、NCフライス盤、NC旋盤などのNC工作機械群で行なうが、プラ材種それぞれの熱膨張係数が異なるため、仕上がりの精度出しには経験と勘が欠かせない。とくに加工図面には百分台の公差指定が多くあり、それをクリアする工程設計、切削条件の選定、クランプ方法（吸引方式等）、加工ひずみ取りアニールの可否など、独自の加工ノウハウが要求される。

このように同社では金属にない特性をお客様のニーズに応じて最適材料選択ができる専門技術者に支えられ、全国各地から注文図面が舞い込む。受注となると17台のCAD/CAMシステムがフル稼働し、日々数百点に及ぶ注文図面を加工プログラムに変換、加工していく。この短納期化に伝えていく現場力こそ、同社のセールスポイントだ。

「最近の工業分野では、軽量化、コストダウン、低騒音化、透明プラ材による視認性の良さなど多くの利点から、プラ材の適用製品が急速に拡大してきています。私はプラ材加工に20年



間ほど関わってきた経験から、プラ加工の得失を種々吸収することができました。プラ材のことなら、どんなことでも一度当社にご相談ください。豊富な経験則から疑問にお答えします」と創業者の土屋和彦社長。

一方、新規事業開発担当の志村和雄営業部長は、長年勤めてきた工具メーカー、“ジヤトコツール(株)”（富士市）を定年退職後、同社に在職している。長年の切削工具製作の経験を生かし、最近、新規事業としてワイヤ放電加工機4台を駆使したダイヤモンド工具、超硬工具のブランク加工に取り組み始めた。3次元CAD/CAMシステムで要望形状を解析し、最少研削量を実現している。

さらには、各種切削工具のハンドリング用プラケース、展示会の工具ディスプレイ用プラ製スタンドなどの開発にも挑戦している。

〒422-8001
静岡市駿河区中吉田10-69
TEL 054-265-0885
FAX 054-265-0948
URL <http://www.koowa-tec.co.jp>